

釜石港でガントリークレーンの供用を開始

沿岸広域振興局土木部

大阪府から譲渡を受け釜石港へ設置作業を進めてきたガントリークレーンを、9月23日に供用開始しました。

釜石港では、東日本大震災津波後の平成23年7月に国際フィーダー定期航路が就航し、コンテナ貨物取扱量を順調に伸ばしてきていること、また、今秋に外資定期コンテナ航路が開設される見込みであることなどから、ガントリークレーンの導入が喫緊の課題となっていました。

そのような中、震災復興のために、大阪府から大船渡土木センターに派遣された応援職員との縁がきっかけとなり、大阪府からのガントリークレーン譲渡が実現しました。

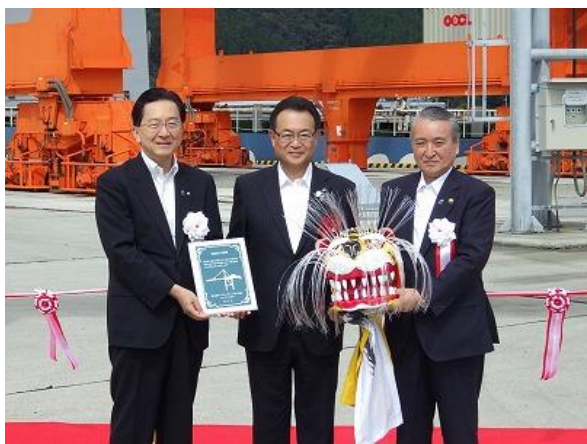
釜石港で開催された供用開始の式典では、大阪府へ感謝の意を表し、達増知事から大阪府竹内副知事へ「記念の楯」を贈呈しました。また、ガントリークレーンのデモンストレーションが行われ、コンテナ荷役を披露しました。

ガントリークレーンの供用によって、大型コンテナ船への荷役対応が可能となります。今後、本県の物流の更なる発展が期待されます。



テープカットの様子
(中央に達増知事、左に野田釜石市長、右に竹内大阪府副知事)

コンテナ荷役のデモンストレーション



大阪府竹内副知事へ、達増知事から「記念の楯」、野田釜石市長から「虎頭」を贈呈